

食品安全情報（微生物）No.3 / 2026 (2026.02.04)

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部

(<https://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/index.html>)

目次

【米国疾病予防管理センター（US CDC）】

1. 乳幼児用調製粉乳に関連して複数州にわたり発生している乳児ボツリヌス症アウトブレイク（2026年1月23日付更新情報）
2. 米国のサイクロスポラ症患者に関する2025年のサーベイランス調査（2026年1月8日付更新情報）
3. 卵に関連して複数州にわたり発生したサルモネラ（*Salmonella Enteritidis*）感染アウトブレイク（2025年7月10日付最終更新）

【カナダ公衆衛生局（PHAC）】

1. 公衆衛生通知：Pillsbury ブランドの冷凍スナック食品「Pizza Pops」に関連して発生している大腸菌O26:H11感染アウトブレイク（2026年1月26日付更新情報）
2. 公衆衛生通知：様々なブランドのピスタチオおよびピスタチオ入り食品に関連して発生しているサルモネラ（*Salmonella Agona*、*S. Anatum*、*S. Bareilly*、*S. Branderup*、*S. Corvallis*、*S. Havana*、*S. Kottbus*、*S. Mbandaka*、*S. Meleagridis*、*S. Ohio*、*S. Reading*、*S. Senftenberg*および*S. Tennessee*）感染アウトブレイク（2026年1月15日付更新情報）

【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

【オランダ国立公衆衛生環境研究所（RIVM）】

1. カーボベルデへの旅行者に対する注意喚起：細菌性赤痢

【各国政府機関】

- 米国疾病予防管理センター (US CDC: Centers for Disease Control and Prevention)

<https://www.cdc.gov/>

1. 乳幼児用調製粉乳に関連して複数州にわたり発生している乳児ボツリヌス症アウトブレイク (2026年1月23日付更新情報)

Infant Botulism Outbreak Linked to Infant Formula, November 2025

Jan. 23, 2026

<https://www.cdc.gov/botulism/outbreaks-investigations/infant-formula-nov-2025/index.html>

<https://www.cdc.gov/botulism/outbreaks-investigations/infant-formula-nov-2025/investigation.html> (Investigation Update)

<https://www.cdc.gov/botulism/outbreaks-investigations/infant-formula-nov-2025/locations.html> (Location)

<https://www.cdc.gov/botulism/outbreaks-investigations/infant-formula-nov-2025/timeline.html> (Timeline)

米国疾病予防管理センター (US CDC) は、乳幼児用調製粉乳に関連して複数州にわたり発生している乳児ボツリヌス症アウトブレイクに関する更新情報を発表した。

2026年1月23日付更新情報

米国疾病予防管理センター (US CDC)、複数州の公衆衛生・食品規制当局、カリフォルニア州公衆衛生局 (CDPH) の乳児ボツリヌス症治療・予防プログラム (IBTPP)、および米国食品医薬品局 (US FDA) は、複数州にわたり発生している乳児ボツリヌス症アウトブレイクを調査するため様々なデータを収集している。

疫学データおよび検査機関での検査データは、ByHeart ブランドの乳幼児用調製粉乳 「Whole Nutrition infant formula」 がボツリヌス菌 (*Clostridium botulinum*) に汚染されている可能性があり、本アウトブレイクの感染源となっていることを示している。

○ 検査機関での検査データ

FDA、CDC、関連各州の当局および ByHeart 社は、当該製品から検体を採取し検査を行った。また、FDA は調査の一環として、分析用に ByHeart 社製品の原材料由来検体を採取した。

○ FDAによる検査

2026年1月23日時点で、FDAが採取した2検体からA型ボツリヌス菌が検出された。そのうち1検体はByHeartブランドの未開封の乳幼児用調製粉乳製品で、分離株について全ゲノムシークエンシング(WGS)解析を行なった結果、本アウトブレイクの乳幼児患者由来の分離株と一致した。これらの分離株は、ByHeart社が採取し実施した検査において、全粉乳から分離された2株とも一致している。この全粉乳はByHeartブランドの「Whole Nutrition infant formula」の製造に使用されている。別の1検体は、ByHeart社に原材料を供給している業者からFDAが採取した全粉乳検体であり、ニューヨーク州保健局Wadsworthセンターの検査機関で分析が実施された。ByHeart社が実施した解析によると、WGS解析の結果、この全粉乳から検出されたボツリヌス菌株はByHeartブランドの乳幼児用調製粉乳の完成品由来検体から分離された株と遺伝学的に一致した。

これらの結果によりFDAのアウトブレイクに関する理解は深まったが、FDAによる調査は継続されており、汚染源を特定するための調査が進められている。

○ ByHeart社による検査

2025年12月23日、ByHeart社は完成品から採取した36検体のうち6検体についてボツリヌス菌が検出されたと公表した。これら6検体は2つのバッチ(バッチ番号:251261P2、251131P2)から採取されたものであり、いずれのバッチも初回の自主回収の対象となっていた(以下Webページ参照)。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/byheart-updates-information-regarding-voluntary-recall-all-batches-byheart-whole-nutrition-infant> (11月11日付回収情報)

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/response-broader-fda-investigation-byheart-initiates-voluntary-recall-two-batches-infant-formula> (11月8日付回収情報)

○ 追加検査

本アウトブレイクの検体分析は継続中であり、結果が得られ次第情報を更新する予定である。乳幼児用調製粉乳またはその原材料からのボツリヌス菌の検出方法が複雑であるため、結果の確認には数週間を要する可能性がある。

(食品安全情報(微生物)No.26/2025(2025.12.24)、No.25/2025(2025.12.10)、No.24/2025(2025.11.26)、No.23/2025(2025.11.12)US CDC記事参照)

2. 米国のサイクロスボラ症患者に関する 2025 年のサーベイランス調査（2026 年 1 月 8 日付更新情報）

Surveillance of Cyclosporiasis

Jan. 8, 2026

<https://www.cdc.gov/cyclosporiasis/php/surveillance/index.html>

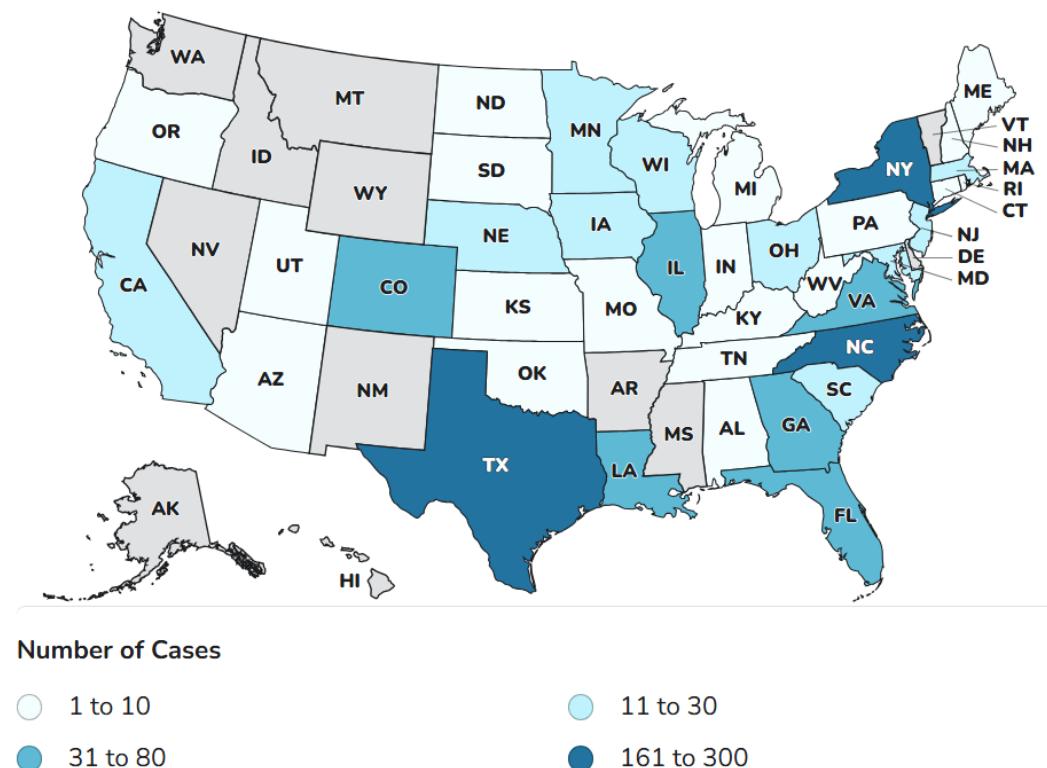
米国疾病予防管理センター (US CDC) は、共通の原因食品に関連したサイクロスボラ症アウトブレイクを探知するため、各州および連邦の公衆衛生・食品規制当局と協力し、年間を通じて米国内のサイクロスボラ症患者のモニタリングを行っている。

サイクロスボラ症の患者数は、通常は春季および夏季の数カ月間に増加する。2025 年は 5 月に患者が報告され始めた。

○ 国内感染サイクロスボラ症患者の発生状況

2026 年 1 月 5 日時点で、国内感染サイクロスボラ症患者計 1,180 人が 38 州から報告されている（図）。これらの患者は米国内で食品を喫食後に発症し、発症前 14 日間の国外旅行歴を報告していない。

図: 2025 年 5 月 1 日以降に発症した国内感染サイクロスボラ症患者の居住州別患者数（2026 年 1 月 5 日時点の計 1,180 人）



患者の年齢範囲は1～90歳、年齢中央値は49歳で、55%が女性である。発症日の中央値は2025年6月30日（範囲は5月1日～8月31日）である。情報が得られた患者1,180人のうち105人が入院した。死者は報告されていない。

地域・州の公衆衛生当局、CDCおよび米国食品医薬品局（US FDA）は、2025年に発生した複数の患者クラスターを調査した。報告患者計1,180人には、FDAが調査を行った患者クラスターに属する患者も含まれている。

○ 国外感染サイクロスボラ症患者の発生状況

発症前14日間の国外旅行中に原因食品・水を喫飲食した患者が、2026年1月5日時点での計1,346人報告されている。患者の年齢範囲は1～104歳、年齢中央値は44歳で、性別は58%が女性である。発症日の中央値は2025年7月5日（範囲は5月1日～8月30日）である。情報が得られた患者1,346人のうち51人が入院した。死者は報告されていない。

（食品安全情報（微生物）No.20/2025（2025.10.01）、No.18/2025（2025.09.03）、No.15/2025（2025.07.23）、No.14/2025（2025.07.09）US CDC記事参照）

3. 卵に関連して複数州にわたり発生したサルモネラ（*Salmonella Enteritidis*）感染アウトブレイク（2025年7月10日付最終更新）

Salmonella Outbreak Linked to Eggs

July 10, 2025

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/eggs-06-25/index.html>

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/eggs-06-25/investigation.html> (Investigation Update)

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/eggs-06-25/locations.html> (Locations)

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/eggs-06-25/timeline.html> (Timeline)

米国疾病予防管理センター（US CDC）、複数州の公衆衛生・食品規制当局および米国食品医薬品局（US FDA）は、複数州にわたり発生したサルモネラ（*Salmonella Enteritidis*）感染アウトブレイクを調査するため様々なデータを収集した。

疫学・追跡調査および検査機関での検査によるデータは、August Egg Company社が供給した卵が *S. Enteritidis* に汚染され、本アウトブレイクの感染源となったことを示している。

○ 疫学データ

2025年7月10日までに、*S. Enteritidis* アウトブレイク株に感染した患者が10州から

計 134 人報告された（図 1）。患者 6 人は発症前 1 週間にカリフォルニア州またはネバダ州に旅行したことを報告した。患者の発症日は 2025 年 2 月 24 日～6 月 6 日であった（図 2）。情報が得られた患者 112 人のうち 38 人が入院した。カリフォルニア州から死亡者 1 人が報告された。

図 1：サルモネラ (*Salmonella Enteritidis*) 感染アウトブレイクの居住州別患者数（2025 年 7 月 10 日時点の計 134 人）

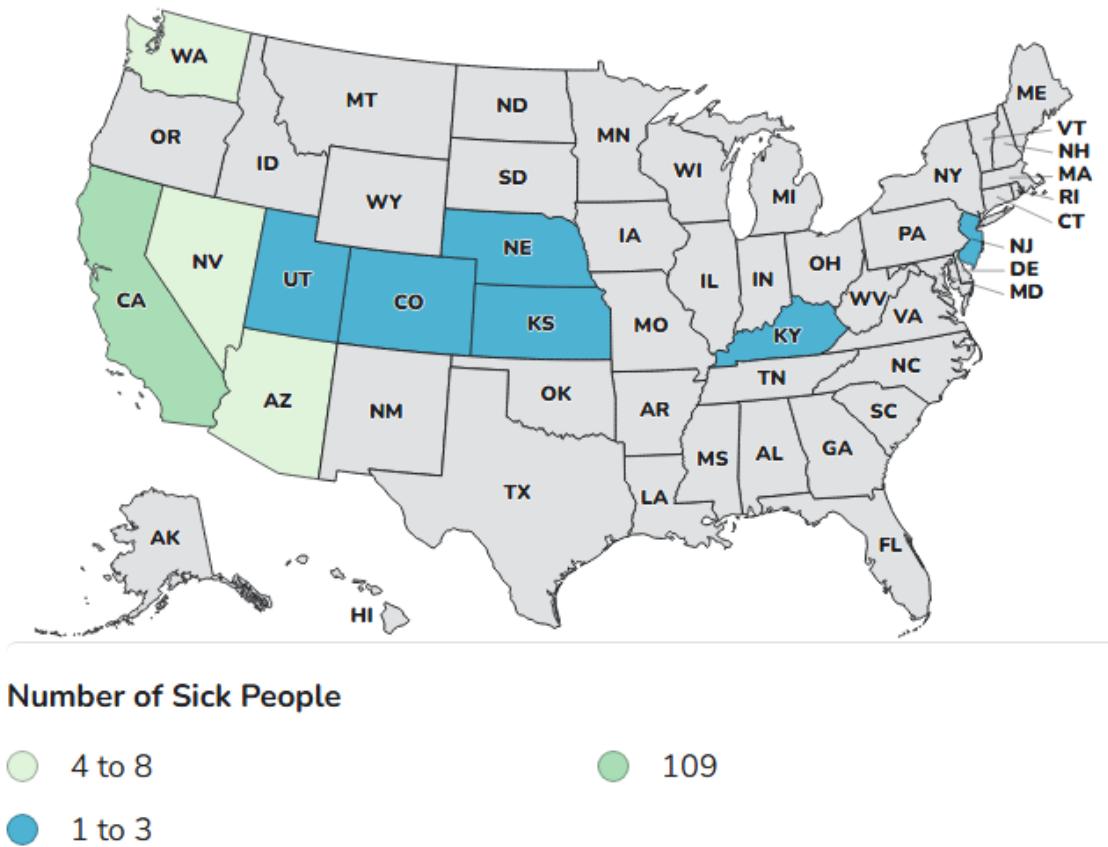
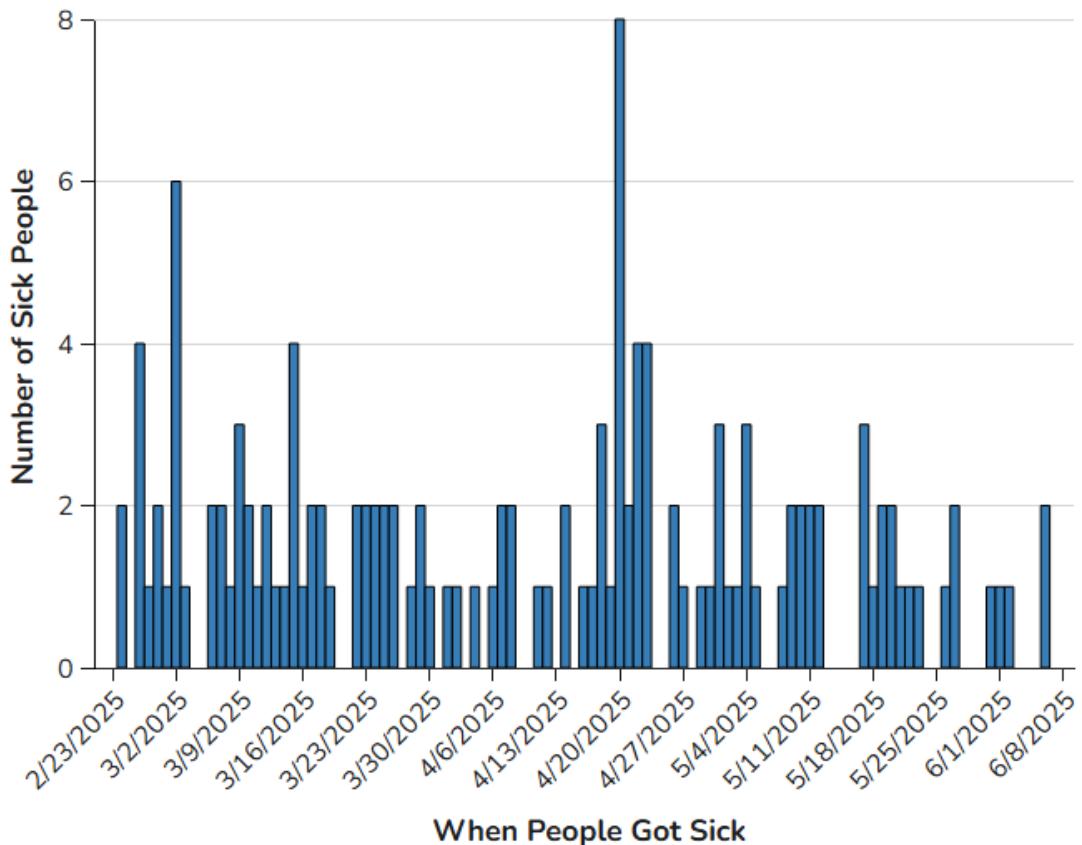


図2：サルモネラ (*Salmonella Enteritidis*) 感染アウトブレイクの発症日別患者数（2025年7月10日時点の計134人）



公衆衛生当局は、患者の年齢・人種・民族・その他の人口統計学的特徴、および患者が発症前1週間に喫食した食品など、アウトブレイク患者に関する様々な情報を多数収集した。これらの情報は、本アウトブレイク調査で感染源を特定するための手掛かりとなった。

本アウトブレイクの患者について得られた人口統計学的情報は以下の通りである（nは当該情報が得られた患者の数）。

年齢 (n=134)	年齢範囲：1～90歳 年齢中央値：46歳
性別 (n=134)	59%：女性 41%：男性
人種 (n=74)	85%：白人 1%：アフリカ系アメリカ人または黒人 11%：アジア系 3%：複数の人種
民族 (n=84)	71%：非ヒスパニック系 29%：ヒスパニック系

各州・地域の公衆衛生当局は、患者が発症前 1 週間に喫食した食品に関する聞き取り調査を行った。聞き取りが実施された患者 41 人のうち 37 人 (90%) が卵の喫食を報告した。各州の保健当局は、多数の飲食店に関連した複数の患者サブクラスターを特定した。患者サブクラスターは、飲食店など同じ場所または同じ行事で食事をした互いに関連のない患者で構成されるグループである。本アウトブレイク調査で特定された上記の患者サブクラスターに関連したすべての飲食店で卵が提供されていた。

○ 検査機関での検査データおよび追跡調査によるデータ

本アウトブレイクの公衆衛生調査では、アウトブレイク患者を特定するために PulseNet (食品由来疾患サーベイランスのための分子生物学的サブタイピングネットワーク) のシステムを利用した。CDC の PulseNet 部門は、食品由来疾患の原因菌の DNA フィンガープリントの国内データベースを管理している。原因菌の分離株には全ゲノムシークエンシング (WGS) 法により DNA フィンガープリントингが行われる。WGS 解析により、本アウトブレイクの患者由来検体から分離されたサルモネラ株が遺伝学的に相互に近縁であることが示された。この結果は、本アウトブレイクの患者が同じ食品により感染したことを示唆している。

FDA は August Egg Company 社が使用している平飼い産卵鶏飼育施設への立ち入り検査を行い、複数の検体を採取した。検査の結果、3 検体からサルモネラが検出された。WGS 解析により、これらの検体から分離されたサルモネラ株が患者由来株と一致することが示された。

患者由来 134 検体および環境由来 16 検体から分離されたサルモネラ株について WGS 解析を行った結果、ナリジクス酸への耐性およびシプロフロキサシンへの非感受性 (NSC) が予測された。この NSC 株は、鶏肉・卵・小規模飼育の家禽類から分離された *S. Enteritidis* 株 (FDA の以下 Web ページ参照) に関連している。

<https://www.fda.gov/animal-veterinary/national-antimicrobial-resistance-monitoring-system/narms-interim-data-updates#682e242c00467>

また、これらの患者由来株のうち 1 株ではアンピシリンおよびストレプトマイシンへの耐性も予測され、別の患者由来 1 株ではアジスロマイシンへの耐性も予測された。サルモネラ症患者のほとんどは抗生物質を使用せずに回復する。しかし、抗生物質が必要であった場合、本アウトブレイクの一部の患者については、一般的に推奨される抗生物質による治療ができない、別の抗生物質の選択が必要となった可能性がある。抗生物質耐性に関する詳細情報は、CDC の全米抗菌剤耐性モニタリングシステム (NARMS) の以下の Web ページから入手可能である。

<https://www.cdc.gov/narms/about/index.html>

患者が購入したと報告した卵のブランド名や購入店舗は様々であった。FDA は、患者が

買い物や食事で調査対象期間内に利用したと報告した場所にもとづいて追跡調査を実施し、卵の単一の供給業者として August Egg Company 社を特定した。

ケンタッキー州、ニュージャージー州およびワシントン州の患者は、発症前にカリフォルニア州またはネバダ州に旅行したと報告した。

○ 公衆衛生上の措置

August Egg Company 社は卵の回収を実施した（以下 Web ページ参照）。回収対象の卵は既に品質保持期限が過ぎているため販売されていない。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/august-egg-company-recalls-shell-eggs-because-possible-health-risk>

（食品安全情報（微生物）No.13 / 2025（2025.06.25）US CDC 記事参照）

● カナダ公衆衛生局（PHAC: Public Health Agency of Canada）

<https://health.canada.ca/index-phac-aspc.php>

1. 公衆衛生通知：Pillsbury ブランドの冷凍スナック食品「Pizza Pops」に関連して発生している大腸菌 O26:H11 感染アウトブレイク（2026年1月26日付更新情報）

Public health notice: Outbreak of *E. coli* infections linked to Pillsbury brand Pizza Pops January 26, 2026: Update

<https://www.canada.ca/en/public-health/services/public-health-notices/2025/outbreak-e-coli-infections-pillsbury-pizza-pops.html>

カナダ公衆衛生局（PHAC）は、Pillsbury ブランドの冷凍スナック食品「Pizza Pops」に関連して発生している大腸菌 O26:H11 感染アウトブレイクに関する公衆衛生通知を更新した。

本アウトブレイクの調査は継続している。

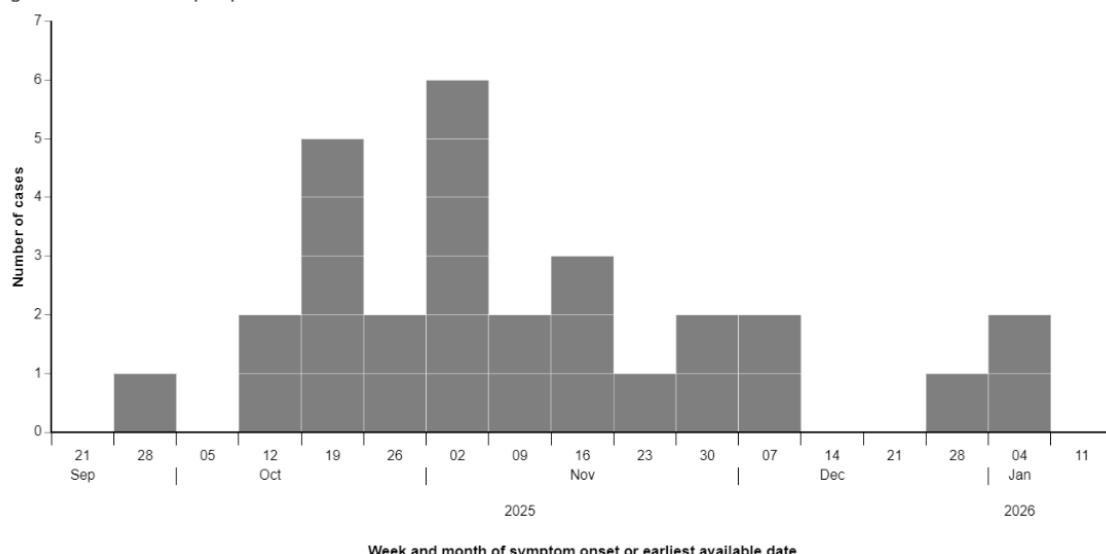
○ 調査の概要

本アウトブレイクに関連して、検査機関で大腸菌 O26:H11 感染が確定した患者が 7 州から計 29 人報告されている。州別の内訳は、ブリティッシュ・コロンビア（4 人）、アルバータ（12）、サスカチュワーン（6）、マニトバ（2）、オンタリオ（2）、ニューブランズウィック（2）およびニューファンドランド・ラブラドール（1）である。患者の発症日は 2025 年 10

月上旬～2026年1月上旬である（図）。報告患者のうち7人が入院し、死亡者はいない。患者の年齢範囲は1～87歳で、57%が女性である。

図：大腸菌O26:H11感染アウトブレイクの発症週別患者数（2026年1月26日時点の計29人）

Figure 1: Number of people infected with *E. coli* O26:H11



患者の多くがPillsburyブランドの「Pizza Pops」の喫食または当該製品への接触を報告した。調査は継続しているため、本アウトブレイクに関連した別の食品が新たに特定される可能性がある。

（食品安全情報（微生物）No.1 / 2026（2026.01.07）、No.26 / 2025（2024.12.24）PHAC記事参照）

2. 公衆衛生通知：様々なブランドのピスタチオおよびピスタチオ入り食品に関連して発生しているサルモネラ（*Salmonella* Agona、*S. Anatum*、*S. Bareilly*、*S. Branderup*、*S. Corvallis*、*S. Havana*、*S. Kottbus*、*S. Mbandaka*、*S. Meleagridis*、*S. Ohio*、*S. Reading*、*S. Senftenberg*および*S. Tennessee*）感染アウトブレイク（2026年1月15日付更新情報）
Public health notice: Outbreak of *Salmonella* infections linked to various brands of pistachios and pistachio-containing products

January 15, 2026: Update

<https://www.canada.ca/en/public-health/services/public-health-notices/2025/outbreak-salmonella-infections-pistachios-related-products.html>

カナダ公衆衛生局 (PHAC) は、様々なブランドのピスタチオおよびピスタチオ入り食品に関連して発生しているサルモネラ (*Salmonella* Agona、*S.* Anatum、*S.* Bareilly、*S.* Branderup、*S.* Corvallis、*S.* Havana、*S.* Kottbus、*S.* Mbandaka、*S.* Meleagridis、*S.* Ohio、*S.* Reading、*S.* Senftenberg および *S.* Tennessee) 感染アウトブレイクに関する公衆衛生通知を更新した。

本アウトブレイクの調査は継続している。

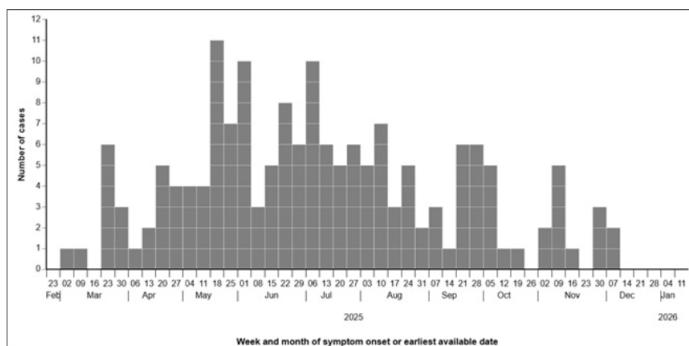
2026年1月15日付更新情報

○ 調査の概要

本アウトブレイクに関連して、*S.* Agona、*S.* Anatum、*S.* Bareilly、*S.* Branderup、*S.* Corvallis、*S.* Havana、*S.* Kottbus、*S.* Mbandaka、*S.* Meleagridis、*S.* Ohio、*S.* Reading、*S.* Senftenberg または *S.* Tennessee への感染が検査機関で確定した患者が 6 州から計 166 人報告されている。州別の内訳は、ブリティッシュ・コロンビア (9 人)、アルバータ (7)、マニトバ (3)、オンタリオ (64)、ケベック (82) およびニューブランズウィック (1) である。患者の発症日は 2025 年 3 月上旬～12 月上旬である (図)。報告患者のうち 25 人が入院し死亡者はいない。患者の年齢範囲は 1～95 歳であり、患者の多く (71%) が女性である。

図: サルモネラ (*S.* Agona、*S.* Anatum、*S.* Bareilly、*S.* Branderup、*S.* Corvallis、*S.* Havana、*S.* Kottbus、*S.* Mbandaka、*S.* Meleagridis、*S.* Ohio、*S.* Reading、*S.* Senftenberg または *S.* Tennessee) 感染アウトブレイクの発症週別患者数 (2026 年 1 月 15 日時点の計 166 人)

Figure 1: Number of people infected with *Salmonella* Agona, *Salmonella* Anatum, *Salmonella* Bareilly, *Salmonella* Branderup, *Salmonella* Corvallis, *Salmonella* Havana, *Salmonella* Kottbus, *Salmonella* Mbandaka, *Salmonella* Meleagridis, *Salmonella* Ohio, *Salmonella* Reading, *Salmonella* Senftenberg, and *Salmonella* Tennessee.



患者の多くがピスタチオまたはピスタチオ入り食品 (ドバイスタイルのチョコレート、ペストリー製品など) の喫食を報告した。回収対象製品 (以下 Web ページ参照) のうち、ピスタチオ製品およびドバイスタイルのチョコレートの複数検体からサルモネラアウトブレ

イク株が検出された。

<https://inspection.canada.ca/en/inspection-and-enforcement/food-safety-investigations/pistachio-recall-salmonella#a4>

調査は継続しているため、本アウトブレイクに関連した別の食品が新たに特定される可能性がある。

(食品安全情報 (微生物) No.25 / 2025 (2025.12.10)、No.22 / 2025 (2025.10.29)、No.20 / 2025 (2025.10.01)、No.18 / 2025 (2025.09.03)、No.17 / 2025 (2025.08.20) PHAC 記事参照)

● 欧州委員会健康・食品安全総局 (EC DG-SANTE: Directorate-General for Health and Food Safety)

https://commission.europa.eu/about/departments-and-executive-agencies/health-and-food-safety_en

食品および飼料に関する早期警告システム (RASFF : Rapid Alert System for Food and Feed)

https://food.ec.europa.eu/food-safety/rasff_en

RASFF Portal Database

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/search>

Notifications list

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/list>

2026年1月14～27日の主な通知内容

警報通知 (Alert Notification)

フランス産ニシンのリステリア、羊乳チーズのリステリアとサルモネラ、オランダ産乾燥有機マルベリー (桑の実) のサルモネラ属菌、ポーランド産家禽肉ケバブのサルモネラ、イタリア産チーズのリステリア (*L. monocytogenes*)、ドイツ産ポークベーコンのサルモネラ (*S. Typhimurium*)、ポーランド産冷凍鶏肉製品のサルモネラ (*S. Infantis*)、英国産ソーセージのリステリア (*L. monocytogenes*)、イタリア産ピスタチオクリームのサルモネラ属菌な

ど。

注意喚起情報 (Information Notification for Attention)

ポーランド産ひき肉と家禽生肉製品に使用する原材料のサルモネラ属菌、ウクライナ産冷蔵鶏むね肉のサルモネラ (*S. Infantis*)、ルーマニア産鶏肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*)、ベルギー産家禽ひき肉のサルモネラ、ベルギー産デザート用クリームのセレウス菌、スロバキア産（ウクライナ産原材料使用）冷蔵鶏むね肉のサルモネラ (*S. Infantis*)、オランダ産鶏肉（マリネ液漬け）のリストeria (*L. monocytogenes*)、ウクライナ産殻付きヒマワリ種子（野鳥用）のサルモネラ属菌など。

フォローアップ喚起情報 (Information Notification for follow-up)

ポーランド産冷凍鶏手羽肉のサルモネラ (*S. Infantis*)、ポーランド産冷凍鶏肉のサルモネラ (*S. Agona*)、ドイツ産牛肉のサルモネラ (*S. Dublin*)、フランス産低温殺菌乳チーズの大腸菌、ハンガリー産鶏肉のサルモネラ (*S. Infantis*、*S. Kedougou*)、オランダ産家禽肉のサルモネラ、アルゼンチン産動物副産物（カテゴリー3）のサルモネラなど。

通関拒否通知 (Border Rejection Notification)

ナイジェリア産粉末コショウのサルモネラ (*S. Urbana*、他)、セルビア産ケーキクラストの好気性中温菌、ナイジェリア産ゴマ種子のサルモネラ属菌、英国産加工動物タンパク質（家禽ミール）のサルモネラ、インド産 betel leaf (キンマの葉) のサルモネラなど。

-
- オランダ国立公衆衛生環境研究所 (RIVM: Rijksinstituut voor Volksgezondheid en Milieu)

<https://www.rivm.nl>

カーボベルデへの旅行者に対する注意喚起：細菌性赤痢

Travellers to Cape Verde: be alert to bacterial dysentery caused by shigellosis

Publication date 10 Dec 2025

<https://www.rivm.nl/en/news/travellers-to-cape-verde-be-alert-to-bacterial-dysentery-caused-by-shigellosis>

オランダ国立公衆衛生環境研究所 (RIVM) は、カーボベルデへの旅行者に対し、赤痢の感染リスクについて注意喚起している。この細菌感染症は、重篤な出血性下痢や発熱を引き

起こす。2025年9月および10月に、オランダ人旅行者計8人が赤痢と診断された。これらの患者は、サル島およびボア・ビスタ島にあるリゾート地に滞在していた。

カーボベルデへの旅行者における赤痢患者は欧州のその他の国からも報告されている（以下Webページ参照）。

<https://www.ecdc.europa.eu/sites/default/files/documents/Communicable-disease-threats-report-week-49-2025.pdf>

RIVMは地方自治体の保健機関に通知するとともに、報告患者に関する情報を関連国際機関に提供した。2025年12月10日時点では、患者の感染経路は特定できていない。しかしながら、本件の赤痢菌株が2022年にサル島に関連して発生したアウトブレイク（食品安全情報（微生物）No.15 / 2024（2024.07.24）ECDC記事および以下Webページ参照）の原因株と同一であることは明らかになっている。

<https://www.ecdc.europa.eu/sites/default/files/documents/shigella-sonnei-risk-assessment-february-2023.pdf>

○ 重度の腸管感染症

赤痢は赤痢菌(*Shigella*)を原因とする重度の腸管感染症である。症状として出血性下痢、胃痙攣、発熱などがみられ、嘔吐症状を呈することもある。赤痢患者は便中に赤痢菌を排出する。したがって、手で食品や物およびそれらの表面などに触れることで赤痢菌が拡散される可能性がある。赤痢患者は他者に赤痢菌を伝播しやすい。

○ 旅行者向け助言

ケープベルデの島々に関連して赤痢菌のアウトブレイクが発生していることを認識することが重要である。アウトブレイクにより何らかの健康リスクが生じる。旅行者は、サル島やボア・ビスタ島を訪問するか否かについて、情報にもとづいて判断することができる。RIVMはまた、不明な点については旅行業者に問い合わせるよう助言している。

RIVMは、既に当該地域を旅行中の人に対しては、重篤な（出血性）下痢・発熱など関連した症状が生じている場合は現地の医師に連絡するよう呼びかけている。また、オランダへ帰国後に発症した場合は、かかりつけ医に電話し、最近サル島またはボア・ビスタ島へ行った旨を伝えるよう助言している。

○ 一般的な衛生管理

赤痢への曝露の予防は困難である。以下のような適切な衛生管理がリスクを最小限に抑えるために役立つ可能性がある。

- ・ こまめに手を洗う。
- ・ 便器は蓋を閉めてから水を流す。
- ・ 便器は使用直後に毎回清掃する。

- ・ 下痢症発症者がトイレを使用した後は手拭きタオルを毎回交換する。

RIVM はまた、熱帶諸国・亜熱帶諸国への旅行者に対しても助言を行っており、水道水の喫飲を避け、市販のボトル入り飲料水などの清潔な水を飲むことを推奨している。また生の食品の喫食は避けることが望ましいとしている。

○ 2022 年の赤痢アウトブレイクとの関連

2022 年に、オランダおよびその他の欧州各国で多数の赤痢患者が報告された（食品安全情報（微生物）No.15 / 2024（2024.07.24） ECDC 記事参照）。このアウトブレイクの患者には、休暇でサル島のリゾート地を旅行した人が複数含まれていた。当時オランダでは、多数の赤痢患者が報告されていた。2023 年および 2024 年の赤痢の報告患者数はわずかであった。2025 年の初秋から赤痢確定患者数が再び増加している。

（関連記事）

欧州疾病予防管理センター（ECDC）

欧州連合／欧州経済領域（EU/EEA）加盟国、英国および米国においてカーボベルデからの帰国者で発生した赤痢菌（*Shigella sonnei*）感染アウトブレイク

Outbreak of *Shigella sonnei* in the EU/EEA, the United Kingdom, and the United States among travellers returning from Cabo Verde

17 February 2023

<https://www.ecdc.europa.eu/sites/default/files/documents/shigella-sonnei-risk-assessment-february-2023.pdf>（報告書 PDF）

<https://www.ecdc.europa.eu/en/publications-data/outbreak-shigella-sonnei-eueea-united-kingdom-and-united-states-among-travellers>

（食品安全情報（微生物）No.15 / 2024（2024.07.24） ECDC 記事参照）

食品安全情報

連絡先：安全情報部第二室